

2022年中 (1月~12月)

岡山市火災救急概要 (速報値)

●火災概要

岡山市消防局管内における2022年中の火災件数は165件で、昨年(193件)に比べ、28件の減少となっています。また、火災による死者は4人、負傷者は31人となっています。なお、住宅火災における出火原因別グラフは右下のとおりで、**火災による死者4人のうち、3人が住宅火災で亡くなっています。**

区分	2021年	2022年
火災件数	193件	165件
死者(負傷者)	11人(37人)	4人(31人)
損害額	約3億3,453万円	約2億5,294万円

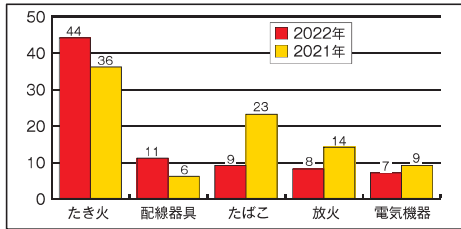
●救急概要

区分	2021年	2022年
出場件数	30,742件	36,227件

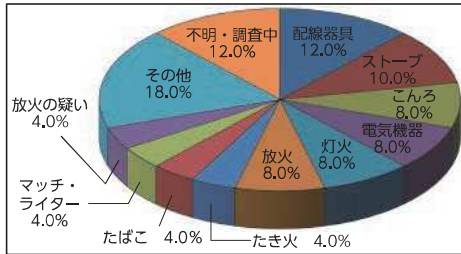
●主な事故種別件数

事故種別	2021年	2022年
急病	19,960件	24,428件
交通	2,373件	2,510件
一般負傷	4,890件	5,671件

●火災原因(ワースト5)



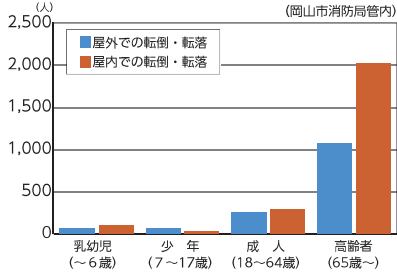
●2022年 住宅火災の出火原因別割合



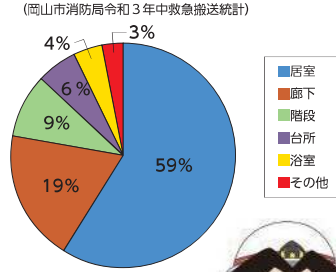
予防救急 転倒・転落編!

誰にでも起こり得る転落や転倒による怪我。特に**高齢者**の方によく、**住み慣れた家の中にも危険**が潜んでいて、居室や廊下、階段で多くの転倒転落事故が発生しているんだ!

転倒・転落による救急搬送人員数(令和3年中)(岡山市消防局管内)



住宅での転倒・転落事故発生状況(岡山市消防局令和3年中救急搬送統計)



予防のポイント

- ① 家の中は整理整頓
- ② 階段やベッド、廊下には手すりを
- ③ 階段や廊下に滑り止めを
- ④ 靴下やスリッパは滑りにくいものを
- ⑤ 階段や廊下に足元を照らすライトを



防火委員会 だより

発行 岡山市連合防火委員会 事務局: 岡山市消防局消防総務部予防課 (TEL.234-1199) ホームページ <https://www.city.okayama.jp/0000010222.html>

2022年度 全国統一防火標語

『お出かけは マスク戸締り 火の用心』



令和5年 山火事予防標語 『火の確認 山を愛する あなたのマナー』

令和5年 春の火災予防運動

3月1日(水)
▼
3月7日(火)

●春の火災予防運動に伴う主な行事予定(期間前含む)

日時	行事予定	場所
2月28日(火)~3月1日(水) 8時30分~16時00分	住宅用火災警報器 衣類等の防災品の展示	市役所1階市民ホール
3月1日(水) 10時00分~	火災予防運動 オープニングセレモニー	岡山駅前広場(後楽園口)
3月2日(木) 9時00分~	特別消防訓練(中消防署)	岡山市立旭菴小学校
3月3日(金) 10時00分~	優良防火管理者等表彰式	市役所7階大会議室
期間中	巡回広報、防火教室 住宅防火診断(自己診断)	各消防署管内

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、予定が変更になる場合があります。

回覧

素敵なポスターが できました♪

岡山市消防局では毎年、市内の小学校4・5・6年生及び中学生を対象に火災予防思想の普及啓発を図ることを目的として、防火に関するポスター画を募集しています。今年度、応募していただいた作品は、どれも火災予防に対して真剣な気持ちが込められていました。

厳正な審査の結果、12点の入賞作品を決定し、岡山市消防局長賞に入選された作品をポスターに決定しました。

このポスターは市民に広く火災予防を呼びかけるために、春の火災予防運動に合わせて、市内の各町内会や各学校等で掲示します。



自宅で避難訓練を してみませんか？

みなさんは、自宅で「避難訓練」をしたことがありますか？
「自分の家なら、間取りもよく分かるし、学校や職場のように広くないから、避難訓練の必要はない」と思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

しかし、実際に火災が起きたとき、冷静に避難することができるのでしょうか？
例えば、下のような場合を想定してみましょう。

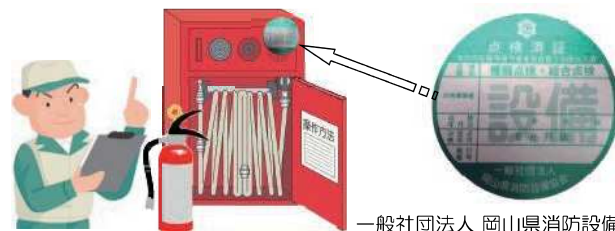
- ①夜中の2時、寝ている時に火災発生。
- ②火災に気付いているのは自分だけ。家族やペットを助ける必要がある。



どうでしょうか。いつも通り、避難することができますか？
自宅で避難訓練をしておくことで、もしも火災が起きたとき、どのようにして避難するかをあらかじめ考えておくことができます。

また、自宅の玄関以外の避難場所についても確認することができます。
この機会にぜひ、自宅で避難訓練をして、家族で避難について考えてみてください。

緑のラベル（点検済票）は、安心の証！



皆様の命を預かる消防用設備等の維持・管理は、国家資格(消防設備士・点検資格者免状)を所持し、損害賠償責任保険に加入している信頼のおける業者でなければなりません。

消防用設備等の点検・整備は、当協会の表示登録会員にお任せ下さい。

一般社団法人 岡山県消防設備協会 〒703-8278 岡山市中区古京町一丁目1-17

TEL 086(272)9988 FAX 086(272)9989 <http://www.syoubounet.jp/okayama/> Email: ssk@okayama.email.ne.jp



- ①使用中に普段と違った音や動きに気づいたときは、使用をやめ、専門業者に点検してもらう
- ②電気器具等は、正しく使用する
- ③使用しないときにはスイッチを切り、プラグをコンセントから抜く習慣をつける

電気火災を防ぐポイント

- ④コンセントの電気の許容量を超えて使用する「たこ足配線」は絶対にしない
- ⑤差込プラグに付着したほこり等は取り除く
- ⑥傷んだコードは使用しない

岡山市の公式YouTube 「電気火災にご注意を!!360度カメラによる模擬家屋燃焼実験映像」
URL: <https://youtube.com/N5pAxoLcyLQ>

ベッドの下敷きになった電気コードから出火!

ガソリンの詰替え販売について

ガソリンスタンド関係者の皆様へ

給油取扱所の従業員(危険物取扱者)が、灯油用ポリエチレン缶に「誤ってガソリンを詰め替える」という「法令違反」を行ってしまいました。

この法令違反により、容器を持ち帰ったお客さんが、「灯油用暖房器具に、ガソリンを給油した」とみられる火災を起こしています。



「灯油」は「灯油専用容器」へ
「ガソリン」は「ガソリン専用容器」へ
油種と容器が一致していることを確認しましょう。

「ガソリン」を容器へ入れる場合は、
「使用目的の確認」等を行い、
適正販売の徹底と適切な取扱いの周知をお願いします。

【ガソリンを購入する皆様へ】

- ・セルフスタンドでは、お客さん自身が、ガソリンを容器に入れることはできません。必ず、従業員の方に入れてもらうようにしてください。
- ・灯油ストーブ等の暖房器具に、ガソリンを給油しないよう、油種の確認をしてください！火災発生の危険性が極めて高くなります。